

## 【授業科目】臨床細胞学演習 Practice of Clinical Cytology

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
白石泰三、澤田浩秀	3年次 後期	選択	1	30	演習	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する フィードバック方法	<p>授業概要／細胞検査士養成課程を目指す者にとって、臨床細胞学総論ⅠおよびⅡを学修した上で、実際の細胞診標本について顕微鏡で観察を行う。本演習では、顕微鏡下で正常細胞および異型細胞、さらに異型細胞の中から良性および悪性細胞の特徴を観察し、それぞれの細胞を評価することにより、細胞診断が実践できる実力を身につけることを目的とする。具体的には、正常細胞、化生細胞、再生細胞、良性異型細胞、悪性細胞などの形態学的特徴とそれぞれの細胞との鑑別点が理解できること、婦人科系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、乳腺・甲状腺などの系統別に、各疾患における細胞像の形態学的特徴と、それぞれの細胞との鑑別点が理解できるよう指導する。</p> <p>*実務経験を持つ教員が授業を進める。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／レポート提出を課した場合は、提出されたレポートにコメントを付けて返却する。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 正常細胞、化生細胞、再生細胞、良性異型細胞、悪性細胞などの形態学的特徴と、それぞれの細胞との鑑別点が理解できる。</li> <li>② 婦人科系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、乳腺・甲状腺など系統別に、各疾患で出現する細胞の形態学的特徴と、それぞれの細胞との鑑別点が理解できる。</li> <li>③ 標本全体をスクリーニングし、異型細胞、悪性細胞を拾うことができる。</li> </ol>							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正常細胞、良性異型細胞、悪性細胞との鑑別点を良く理解できることが重要である。</li> <li>・ 細胞について写真撮影する際には、授業等で習得した重要なポイントを意識して行う。</li> <li>・ 毎回の授業に対する復習を必ず行うこと。</li> <li>・ 1回の演習につき、30分程度の予習および60分程度の復習を行うこと。</li> </ul> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 細胞診標本判読の復習</p> <p>第2回 細胞判読の実践（正常細胞）</p> <p>第3回 細胞判読の実践（炎症性疾患による細胞像）</p> <p>第4回 細胞判読の実践（化生、再生細胞）</p> <p>第5回 細胞判読の実践（良性異型細胞）</p> <p>第6回 細胞判読の実践（悪性細胞①）</p> <p>第7回 細胞判読の実践（悪性細胞②）</p> <p>第8回 細胞判読の実践（悪性細胞③）</p> <p>第9回 細胞判読の実践（悪性細胞④）</p> <p>第10回 細胞判読の実践（婦人科系細胞スクリーニング）</p> <p>第11回 細胞判読の実践（呼吸器系細胞スクリーニング）</p> <p>第12回 細胞判読の実践（消化器系細胞スクリーニング）</p> <p>第13回 細胞判読の実践（泌尿器系・体腔液細胞スクリーニング）</p> <p>第14回 細胞判読の実践（乳腺・甲状腺・その他細胞スクリーニング）</p> <p>第15回 まとめ</p>						<p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p> <p>白石、澤田</p>	
評価方法 評価基準	<p>成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 演習ごとのレポート30%、実技試験30%、学期末試験40%</p>							
教科書	『改訂新版 臨床検査技師を目指す学生のための細胞診』 医療科学社 ※2年前学期「臨床細胞学総論Ⅰ」で使用したものと同一				参考書等		『細胞診を学ぶ人のために 第6版』 医学書院 『～基礎から学ぶ～細胞診のすすめ方第4版』 近代出版	
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 細胞検査士養成過程に進む学生にとっての基礎的科目であり、希望する学生は受講を必須とする。</li> <li>・ 細胞検査士養成過程に進む予定がない学生も、できるだけ多くの学生に受講を勧める。</li> </ul>							